

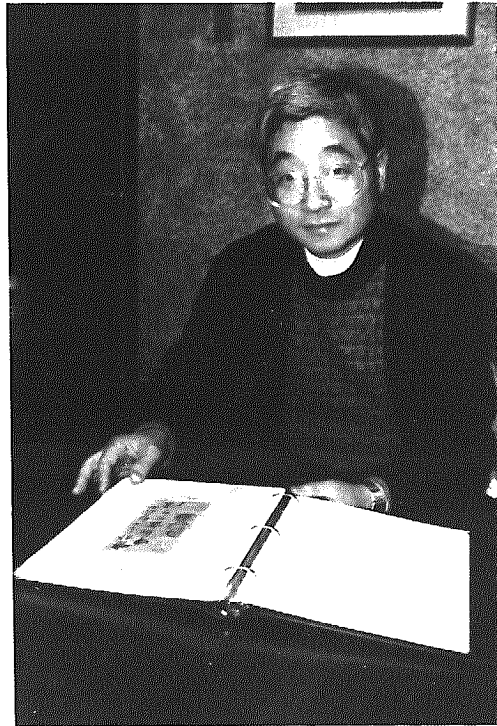
人 79 大人の趣味としての切手収集

にしはら
西原 靖臣さん
七区・五十一歳

切手というと、誰もが小学生くらいで集めたりしたことがあるのではないだろうか。だいたいは大人になる前に卒業するようだ。そのせいから、切手収集という子供の遊びで、大人の趣味とは認められていないくらいがある。

「切手収集というのは、趣味の王様、王様の趣味といわれているんですが」と長く切手収集を趣味とし、切手収集家の全国的組織・日本郵趣協会の新潟支部長を現在務めている西原さんは言う。「興味のない人から見れば、切手は確かにただの紙きれでしかないのじゃないか」

「切手収集というのは、趣味の王様、王様の趣味といわれているんですが」と長く切手収集を趣味とし、切手収集家の全国的組織・日本郵趣協会の新潟支部長を現在務めている西原さんは言う。「興味のない人から見れば、切手は確かに確かにただの紙きれでしかないのじゃないか」



西原さん。本職は歯科医。2、3年前に大野町郵便局で、自分のコレクションを使ってミニ切手展を行った。「今年あたり、またやりたいですね」。また切手収集をしている人に女性が少ないそうで「やはり男に比べて現実的なせいでしょうか」。

うんですよ。長い期間にわたって発行されたので、時期によって印刷方法などいろいろ試行錯誤しながらやっていたんですね」と説明する口調に熱がこもる。切手ではなく、切手に押される消印のコレクションもある。このあたりになると、郵便の歴史を研究するため古文書を地道に集めているような感すらあり、趣味の世界は奥が深いと感じさせられる。

さて、西原さんは切手の一収集家というだけでなく、切手愛好者の全国的組織・日本郵趣協会の新潟支部長でもある。そこで、最後に切手収集についての西原さんの考えをお聞きしてみた。「趣味ですから、こうやらずらに集めていくというよりは、興味があるもの、図案がキレイだな、というので集めていく。楽しむことが大切ですね」

(岩野広報担当)

15ページの「話かこ」の欄は、主に町内で行われた講演をもとに掲載しています(町内で講演がなかったりした場合は「広報通信」という日本広報協会発行の雑誌から転載しています。こんな人の講演会なんてなかったのになあ、と疑問に思われていた皆さん、実はそういう訳だったのです。この欄をまとめていくつも思うことは、講演会には自分の目と耳で聞くのが一番だ、ということ。「話かこ」の欄というのは字数が限られていて、それだけでは講演の内容を十分伝えていないのです。「神は細部に宿りたもう」ということばがありますが、余談・枝葉というのが意外とおもしろくてためになるんですね。「話かこ」ではそういったものをパサリ切り捨てなきゃならないんで、いつも「この人の話はこんなもんじゃないんだ、もっとおもしろいんだぞ」なんて思いついたらまとめていこう。また、テープだけ聞くのも今月の「話かこ」は、実はテープを聞いてまとめたものなんです。講演している人の表情(顔だけでなく全身の)や聞いている人たちの反応がわからないと、ちょっと聞き続けるのがつらかったりもします。やはりその場の雰囲気というのが大切だと思います。講演会へ行く機会があるようでしたら、ぜひ自分の目で見て、耳で聞いてみてください。

●今月号の表紙

「心の時代」と言われるようになってひさしいですが、商業的な戦略が感じられて、個人的には首をかしげてしまう。いつの時代にも「心」は大事だったはず。それはほかの皆さんも「生きがい」を知ることが町行政にとっても大事と考え、聞いてみました。今後皆さんの「生きがい」についてお聞きしたいと思いますので、よろしくお願ひします。



ほんの一冊 ミジンコの都合

日高敏隆・坂田明・著
(晶文社)
動物学者とジャズ・ミュージシャンの

取り合わせが奇妙だな、と思って読み始めました。そしたら、坂田さんも大学時代に水産学をやった人で、今でも自宅でタナゴやミジンコを飼育していて、ほんとに生き物が好きな人なんです。生き物とのつきあい方では、犬や猫をまるで人間のようにかわいがり過ぎるのを動物にとって迷惑な勘違いと批判し、人間でも異文化をもつ相手には、相手のことをよく知り尊敬しなくてはうまくつきあえないというところは、最近の国際情勢なども含めて深く考えさせられます。もったいなくて本当は紹介したくないんだけど、と言いたくなるくらいいい本だと思いました。(この本は町立図書館にあります)

人々の動き

1月末日現在	(前月比)	前年(同月比)
人口	23,595 (+8)	[+218]
男	11,569 (±0)	[+97]
女	12,026 (+8)	[+121]
世帯	6,338 (+5)	[+107]

1月1日～末日	出生	転入	死亡	転出
出生	24	24	24	24
死亡	2	2	2	2

新潟県 黒埴町 407 66